

注目情報①

買い物ついでに! 申請書不要! 写真撮影無料!

土・日・祝日マイナンバーカード出張申請窓口を開設



申請書がなくても、本人がお越しになれば申し込みができます。さらに今回、マイナンバーカードをお持ちの人は健康保険証としての利用申し込みのサポートも行います。

- 対象者**
- ① 交付申請  
15歳以上の市民(15歳未満の人は保護者、成年被後見人は法定代理人が要同伴)
  - ② 「健康保険証」利用申し込み  
マイナンバーカードを所有する人(本人のみ)

- 持ち物**
- ① 交付申請  
本人確認書類(運転免許証など)、通知カード
  - ② 「健康保険証」利用申し込み  
マイナンバーカード(交付時に設定した4桁の暗証番号が必要です)

**問い合わせ** 【休日出張サポート申請】市民課 Tel. 71-2489 【マイナンバー総合フリーダイヤル】 Tel. 0120-95-0178

**場所** いずれの店舗も10:00から16:00まで

- イ** シアあづみの掘金店 南入口付近  
11月1日(水)~12月17日(日)、1月6日(土)~2月25日(日)の土・日・祝日 (35日間)
- デ** リシアあかしな店 店舗入口付近  
11月1日(水)~26日(日)の土・日・祝日 (10日間)
- イ** オン豊科店 3階イオンホール  
12月1日(金)~24日(日)の土・日・祝日 (8日間)

注目情報②

申請・手続き ごみ 子育て

安曇野市公式LINE新機能が追加

- 次の手続きができるようになりました。
- 申請・手続き**
    - ① 所得・課税(非課税)証明書、軽自動車税納税証明書の郵送請求
    - ② 犬の各種申請(登録・死亡届など)
  - ごみ**  
(分別・収集日の通知)  
収集日の通知機能を追加しました。お住いの地域に合わせて、収集するごみ・資源物の種類をお知らせします。
  - 子育て**  
次の手続きができるようになりました。
    - ① 母子手帳交付時の面談予約
    - ② 出産応援給付金などの申請
 ※妊娠届出時にLINE登録をした人のみ利用可



←文字入力/メニュー開閉→  
新しいLINEのリッチメニュー

今後も機能を充実していきます。ぜひ友だち追加を!  
園行革デジタル推進課  
Tel. 71-2079



テーマは「移住者に選ばれ続ける信州安曇野」 知事との県民対話集会

阿部知事との県民対話集会が9月9日、市役所で行われ、訪れた約60人の市民が阿部知事との対話に耳を傾けました。  
阿部知事は「活発な意見を聞きながら議論することで、皆さんと同じ方向を向き、一緒に課題を解決していきたい」とあいさつ。対話では、移住者支援や交流事業を行うパネリストの5人を中心に、自身が行う活動や日頃感じていることなどについて議論を深めました。

パネリストの1人、三郷小倉地区の大栗勲さんは「移住者と地元の人とのコミュニケーションが大切。住んでみないとわからないようなことをツアーや対話を通して行っている」と、移住者の呼び込みに地域ぐるみで力を入れていくことを説明しました。阿部知事は「良い取り組みなので他の地域にも伝えたい。地域の協力がなければ移住施策はうまくいかない」と、移住施策における地域の重要性を語りました。



自然を楽しむ活用する黒沢洞合自然公園へ 住民へ整備計画案を説明

市が拡張整備を計画している黒沢洞合自然公園(三郷小倉)の基本計画案に対する住民説明会が10月1日、三郷公民館で行われ、周辺住民が参加しました。  
同公園の整備検討には南安曇農業高校の生徒も加わっており、若者の発想を取り入れた計画案が事務局から説明されました。同公園整備検討委員会の浅川行雄委員長は「将来にわたり親しまれる公園の整備のため、いただいた意見を今後の計画に生かしたい」とあいさつしました。



計画の基本方針は、里山の自然環境に、子どもも大人も容易に触れ合い体験できる場を提供することとしています。拡張部分に新たな草原・湿地環境の整備やトイレの新設を計画しています。委員会では今後、参加者から出た水の供給や公園管理に対する意見を参考に、基本計画を策定していきます。説明会の内容や出された意見は市HPからご覧いただけます。



vol.3 アウトドア拠点通信 ~安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想の策定に向けて~

市では、東部アウトドア拠点整備基本構想策定に向け検討を行っています。これまでに2回の策定委員会と、水・里山・地域連携の3分科会を3回開催しました。9月9日の3回目分科会では、全ての分科会合同でワークショップを実施。各分科会でこれまでに議論した内容を踏まえ、「拠点の役割」「次世代・教育」「来た人が楽しめる」「住民の巻き込み」「ファンを増やす」の5つのテーマで意見交換を行いました。  
各テーマの意見から、拠点は「川から里山・空までまち全体で点を線でつなぎ、誰もが楽しめる場であること」、「子どもや地域内外プレイヤーを巻き込んだ、

人材の発掘・育成・連携ができる場であること」が望まれており、「観光」と「教育」が両立する拠点が求められていることを確認しました。  
この結果を受け、今後策定委員会により具体的な構想案を検討していきます。なお、分科会の検討内容等は市HPからご覧いただけます。



9月9日の分科会の様子